

環境について考えよう

節電家庭編 ⑦

環境総合推進室  
☎0287-92-1110

冬の節電「ご協力」を！

冬は夏に次いで電力需要が高まる季節です。「寒さ」に対する暖房や、日が暮れるのが早い「照明」を使用する時間が長いことから、電力の使用量が多くなります。冬の節電対策としては、いかに効率のよい「暖房」「明るさ」を確保するかが、ポイントとなります。

今回は、「暖房器具」の上手な使い方について、ご紹介します。

■エアコン

夏に活躍した「扇風機」を、冬にも利用します。室内の設定温度をいつもより2℃下げ、扇風機を部屋の壁面に向け天井方向に弱風で回し、上の温かい空気を床面に降ろすと、空気の流れて暖かくなります。電気代の節約にもつながります。



■石油ファンヒーター

使用する前に、フィルターにまつたゴミやホコリを取り除くと暖房効果がアップします。また、室内の空気が一番冷たい窓などの近くに置くと、効率よく室内を暖めることができます。※石油ストーブは電気を使用しないため、停電時にも使用でき、家庭に1台あると便利です。



不法投棄現場周辺の  
水質分析結果  
(平成23年度第2回  
年間変動調査分)

小口字北沢地区不法投棄現場周辺の水質分析結果をお知らせします。

調査項目 健康項目、生活環境項目、その他

採水日 平成23年8月8日

- 採水場所
- 1、周辺環境水
    - ①投棄地直下河川
    - ②小口川上流
  - 2、投棄現場浸出水
    - ③投棄地下流側観測井
    - ④投棄地内観測井

調査結果 周辺への汚染拡大の兆候は認められない。

問い合わせ  
馬頭処分場整備室那珂川分室  
☎0287-92-1411  
環境総合推進室  
☎0287-92-1110

広報文芸

俳句

霧襖<sup>きすわ</sup>ほどけ牧牛立ち上がり  
新米に粟<sup>あわ</sup>籾<sup>ひ</sup>と付けにけり  
復興や大漁旗上げ秋刀魚船  
ぼとぼと地に秋耕の汗ひかる  
秋の風雲の流れに逆らはず  
古墳塚崩さんばかり虫時雨



馬頭 藤田 芳輝  
馬頭 川上 幸男  
松野 横山 義夫  
三輪 永森 悦子  
久那瀬 堀江 直子  
小川 金井 和子

短歌

夕焼けの空のはたてに思い出づ父母と暮らしし茅葺の家  
フクシマと私は書かぬ福島に小春日のごとき友あり  
親鳥の胸丈ほどの白鷺も刈り田に餌を急ぐ南下近き日  
湧く雲に誘導頼み追ひ行かむ還らぬ兄の比島の島へ  
卓袱台に茶の道具揃ひある中に鬼ゆず一つ光を放つ  
広重の描きしブルーに似し空に浮雲ひとひら南に流る

小川 平澤 照雄  
小川 佐藤 孝子  
恩田 上杉 里子  
和見 小高 歌子  
小口 影沢 よし  
盛泉 岡 イチエ

川柳

働けるうちが華よと祖父の鍬  
三代目大黒柱黒光り  
お守りが縫い付けてある認知症  
年輪を重ねて柿が甘くなり  
年輪に刻んだ愛も憎もある



小砂 笹沼 季子  
大山下郷 佐藤 有紀  
小川 平澤 照雄  
谷田 岡崎 甫子  
薬利 大嶋 克明



新着図書

那珂川町図書館

「人物でみる栃木の歴史」



古代から近現代まで栃木県に大きな影響を与えた人物十八人をとりあげ、栃木の歴史と文化を紹介。那須直韋提や那須与一、田中正造など、栃木県出身の人物がどのような活動を展開したか、歴史上著名な人物が栃木県とどのような関わりをもっていたかを明らかにする。人物をとおりて栃木の歴史と文化を学ぶのに最適な一冊。

「消失グラデーシオン」



私立藤野学院高校のバスケット部員椎名康は、ある日、少女が校舎の屋上から転落する場面に遭遇する。康は血を流し地面に横たわる少女を助けようとするが、少女は目の前から忽然と消えてしまう。監視された空間で起こった目撃者不在の少女消失事件。複雑に絡み合う謎に、多感な若き探偵たちが挑む。横溝正史ミステリ大賞史上、選考委員最大の賛辞を受けた、傑作青春ミステリ。

「はやぶさ君の冒険口誌」



打ち上げから帰還までの7年間にわたり、小惑星探査機「はやぶさ」を見守り支え続けた現場スタッフを描く、はやぶさ君の視点からの冒険記録。子どもから大人まで、誰もが「はやぶさ博士」になれる決定版！JAXA現場スタッフによる手作りパンフレットが、大幅加筆を経て待望の書籍化。

- ◇「指名手配」 新津きよみ／著（角川春樹事務所）
- ◇「境遇」 湊 かなえ／著（双葉社）
- ◇「春から夏、やがて冬」 歌野晶午／著（文芸春秋）
- ◇「プリズム」 百田尚樹／著（幻冬舎）
- ◇「少女不十分」 西尾維新／著（講談社）
- ◇「すべて真夜中の恋人たち」 川上未映子／著（講談社）
- ◇「四十八人の忠臣」 諸田玲子／著（毎日新聞社）
- ◇「ハロワ！」 久保寺健彦／著（集英社）
- ◇「禁煙はじめました」 伊藤三巳華／著（メディアファクトリー）
- ◇「七年目のツレがうつになりました。」 細川裕太／著（幻冬舎）
- ◇「百歳」 柴田トヨ／著（飛鳥新社）
- ◇「世界を救う七人の日本人」 池上彰／著（日経BP社）
- ◇「両親が読む！うの子どもの結婚準備」 若下宣子／監修（土屋書店）

シリーズ「スポ少」紹介⑧  
小川ミニバスケットボールスポーツ少年団



わたしたち小川ミニバスケットボールスポーツ少年団は現在、女子部員11名、男子部員3名で小川小学校体育館をホームコートに週2回、月曜日と水曜日の夜に活動しています。近年の成績は、昨年のチームが地区優勝や各種カップ戦での優勝、県大会での上位進出等活躍が顕著でした。また、今年のチームも地区大会準優勝を果たすなど、これからの活躍が大いに期待されます。特筆すべきは、出場チームの顔ぶれが毎年変わる戦国模様の秋の栃木県大会に、地区予選を勝ち抜き4年連続での出場を決めたことです。地区内でも近年は当チームだけの快挙であり、保護者共々大いに盛り上がりました。また、今年の秋田インターハイでベスト8に進

出したチームに当団の先輩が在籍しており、大変誇らしく、後輩にも夢を与える話題となりました。最後になりますが、わたしたちはミニバスケットボールをとおしてあいさつや礼儀の大切さは無論のこと、最後まであきらめない心と、勝利の喜び、勝利のきびしさ、敗北の悔しさ、敗者へのいたわり、そして支えてくれる周囲への感謝の気持ちをいつも忘れずプレイすることを心がけています。ともにボールを追い、ともに汗を流せる仲間をいつでも募集中です。興味のある方は、ぜひ一度練習を見に来てください。お待ちしております。小川ミニバスケットボールスポーツ少年団 代表 関谷作美(☎090-9012-6237)